

七転八倒は7転8倒か?

平成20年度「放送における数字表現」に関する調査から

メディア研究部(放送用語) 山下洋子

はじめに

2008(平成20)年2月14日に開かれた第1306回放送用語委員会で、テレビの字幕での数字の書き方についての問題が提起された¹⁾。

これをうけて、NHK放送文化研究所(以下、文研)で、放送の字幕やインターネットニュースおよび文字放送で使う数字の書き方を検討することになり、その参考として人々が数字の書き方についてどう考えているのかを探る調査を行った。本稿では、日本語における数字の書き方について公文書や他メディアでの取り決めを説明したうえで、調査の結果を報告する。

数字」は、縦書きを中心に使うという分担が一般的になった。

しかし、「漢数字」は、「縦書き」専用のもではない。日本に古くからあった数字であるため、日本の伝統的な文章の書き表し方である「縦書き」と結びついているだけである。

「漢数字」が「漢字」であると考え、漢字がそのまま「横書き」にも使われているのと同様に、漢字である「漢数字」を「横書き」に使ってもおかしくはない。特に、慣用句に数字が含まれている場合、「横書き」であっても「漢数字」を使わないと間違った表記になってしまうことがある。

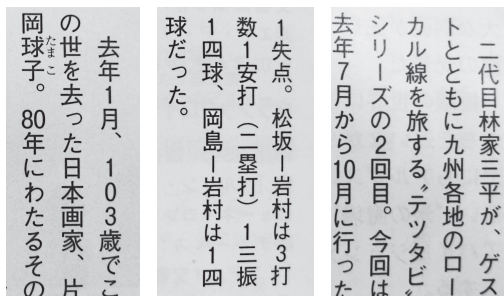
第1章 日本語での数字の書き方

(1) 一般的な場面

日本語での数字の書き方には「算用数字」(1, 2, 3…)と「漢数字」(一, 二, 三…)の2種類がある。「算用数字」は「アラビア数字」「洋数字」とも言う。

算用数字は、アルファベット(横文字)とともに日本に流入し、幕末・明治時代になって使われるようになった。漢数字は、中国で使われ始めた数字で、漢字とともに日本に流入してきたものである。こうした流入の背景から、日本語では、横書きに用いるのは「算用数字」で、「漢

写真1 数字の書き表し方(縦書き)



(「ステラ」2009年4月～7月記事より)

写真2 数字の書き表し方(横書き)

BShi 7月22日(木)午後2:00～3:30

プレミアム8<紀行> ドラマティックバス 第二夜 ベネチア ヴァポレットの女

ベネチアに降り立った俺は悪いて早々、運河にトランクを落とす。そこから水上バス・ヴァポレットに乗って美しい迷宮のような水上都市でドラマティックな旅が始まる。

パリ、ベネチア、マドリードの3つの街を、座間になじみの路線バスでぐるぐるドラマ仕立ての紀行番組。第2回はベネチア。ベネチアに降り立った俺は悪いて早々、運河にトランクを落とす。自分の目的地の住所もわからなくなってしまった俺は、トランクを探して、水上バス・ヴァポレットに乗って街をさまよう。そして俺を導く男が現れ…。美しい迷宮のような水上都市でドラマティックな旅が始まる。

(NHK オンラインより)

このため、写真1, 2のように現在の日本語では、「縦書き, 漢数字」, 「横書き, 算用数字」のほか、「縦書き, 算用数字」, 「横書き, 漢数字」と「横書き」「縦書き」の文章にそれぞれ「算用数字」と「漢数字」両方が書かれている場合もあり、複雑である。

(2) さまざまな場面での数字の表記

公文書、新聞や出版物、テレビの字幕などで数字を使う場合、文中に不統一が生じないようにルールを決めている。

(2) - 1 公文書の場合

現在、「公用文作成の要領」(『国語表記実務提要1, 2』)で左横書きで、算用数字を使うように定めている。1942(昭和17)年、国語審議会で、「国語を横書きにする場合には、左横書きとする」という案を議決した。これについては反対があり、政府として採択するに至らなかったが、その後、1949年に正式に公文書で、「左横書き」「算用数字」を使うことが定められた。

(2) - 2 新聞社・通信社の場合

新聞記事や、通信社の配信記事は縦書きが多い。縦書きは日本の伝統的な表記であるとの考え方から、新聞社・通信社では、数字は漢数字を原則に考えているところが多かった。ところが、最近では、縦書きでも算用数字で書くことが多くなってきている。

現在、記事の書き方をハンドブックとして市販している新聞社・通信社の「数字の書き方」の基準・原則は次のとおりである(以下、筆者がまとめたおいた各社の基準・原則の骨子。参考文献参照)。

朝日:日時, 年齢, 金額, 数量など数字の表記は原則として算用数字を使う。そのほか慣用句, 成句, 専門用語, 固有名詞に含まれる数字は漢数字を使う。

毎日:縦書きの文章の中の数字は、漢数字で書くのが伝統である。しかし、読者の読みやすさ、将来の動向を踏まえて、データの数字を中心に算用数字で書く。そのほか、熟語, 慣用句, 固有名詞などは漢数字で書く。表記のしかたに迷うような場合は漢数字で書く。他社より先行する形で1996年から算用数字化を進めている。

読売:記事中の数字は、算用数字を使うのを原則とする。ただし、熟語, 成句, ことわざなどを構成する数字や歴史的に表記が固まっている語は漢数字を使う。表記に迷うときは、算用数字を選ぶ。

産経:記事中の数字については、算用数字と漢数字を使い分ける。ほかの数字に置き換えても意味が通じる数字は算用数字で書く。慣用句, ことわざのほか、ほかの数字には置き換えにくい熟語など固定的に用いられる数字は漢数字で書く。

共同通信:記事中の数字は、数えられる数字を中心に、算用数字表記を拡大する。算用数字使用にあたっては、数字が語の構成要素となっている場合は漢数字を使うなど、日本語の伝統的な表記を崩さないよう配慮する。

時事通信:記事中のデータの数字は算用数字を使用する。和語・漢語意識が強い成句や専門用語などは従来通り漢数字を用いる。

新聞記事や通信社から配信される記事は縦書きだが、近年、インターネット展開により、縦書きの原稿を横書きに書き替える必要が生じた。算用数字のほうが数量として認識でき、読者が理解しやすい。また、漢数字から算用数字への書き換えによって生じる間違いを防ぐ必要もあり、算用数字化が本格的に進められている。

(2) - 3 放送の場合(NHK)

続いて、放送(NHK)の場合である。現在、NHKでは、数字の書き方について、左横書きの場合は、原則、算用数字であり、縦書きの場

合は、原則、漢数字にすると決めている²⁾。しかし、実際の放送では、縦書き字幕で算用数字が使われる場面も出てきている。これは、数量として数字をとらえる場合には、縦書きであっても、算用数字のほうが見やすいと考えての対応である。

また、放送には、視聴者が目にする、テレビ画面上の文字表示(字幕)とは別に、画面に表示されない「原稿」が存在する。記者が直接書き、アナウンサーが読む「放送原稿」である。画面に表示される字幕は、テレビ画面が横長であるため、横書きのものが多い³⁾が、画面には表示されない「放送原稿」(記者が直接書く原稿)は縦書きで書かれる。これは、カメラにうつるアナウンサーが原稿を読む際に、不自然な目の動きや頭の動きをしないため、また、原稿の読みやすさを考えてのことである。この縦書き「放送原稿」で書かれた数字をテレビ画面での表示に合わせて、一部、横書きに書き替える作業が必要になる。最近ではインターネットや携帯電話へのニュース配信が始まり、「放送原稿」をすべて横書きに書き直さなければならない。書き直しの際の間違いなどを防ぐ意味もあり、2006年3月から、縦書きの「放送原稿」で数量を表す数字については、算用数字で書くように部内規定が変更された。

第2章 数字表現に関する調査

数字表現に関しての問題は以下の2点にまとめることができる。

(1) 漢数字・算用数字「混在」が「混乱」に

数字の書き方について、使う場面ごとに原則を作ったとしても、日本語において、漢数字と算用数字の「混在」を避けることはできない。例えば慣用語、成句、熟語に含まれる数字は、横書

きでも漢数字で書く慣用が強い。一方で、同じ文章に数量を表す数字が出てくれば、算用数字を使う。漢数字と算用数字が1つの文章に混在する状態だが、漢数字と算用数字の使い分けがしっかりできていれば問題にはならない。ところが、「漢数字で書くことが慣用」という意識に変化のある語が出ている。例えば、「ニンサンキョク」は「二人三脚」が慣用の表記だが、「2人3脚」もさほど違和感なく使われるようになってきている。一般生活の中ではどちらでもよいが、放送など公の場で同じ語が同じような場面で、漢数字で書かれたり、算用数字で書かれたりしては、「混在」ではなく「混乱」になってしまう。

日本語に数字の書き方が何種類もあることも問題を複雑にしている。例えば、2009年7月12日に投票が行われた「東京都議会議員選挙」で、民主党が圧勝し、都議会「ダイツウ」になった。このことを伝えるニュースで、「第一党」「第1党」2とおりの表記が見られた。新聞社は、朝日、毎日、読売、日経は「第1党」、産経、東京は「第一党」の表記を使っていた。縦書きも横書きも統一した表記である。NHKの放送では多くは横書き字幕で「第一党」を使った。都議会の「第一」「一番目」の党になったことを強調する表現として漢数字を使う場合と、順位・順番であり算用数字を使う場合と両方の考え方ができ、どちらも間違いとは言えない。しかし、読者、視聴者にとっては不統一にうつり、「混乱」しているように感じられてしまう。

(2) 縦書き算用数字は見やすい?

新聞社や通信社では、縦書きの算用数理化を進める理由として、読者の読みやすさをあげている。確かに、縦書きであっても、数量を表す語については、算用数字のほうが量をつかみやすいということはあるだろう。ただ、縦

書きは漢数字で書くという日本の伝統になじんだ人にとっては、違和感が先にたつかもしい。縦書きの算用数字は本当に見やすいと思われているのかどうか、その実態は明確になっていない。

これら「数字表現」に関しての2つの問題点について実態を知るため、文研で調査を実施した。調査は、2008年7月10日～27日に行った。調査の概要は、文末の単純集計に掲げた。また、補完調査として2つの調査を行った⁴⁾。こうした調査をもとに、文研ではNHKの放送で使う「数字表現」の表記方法について、検討を行っている。

①縦書き字幕の場合

テレビ画面に縦書きで数字を表示する場合、どの表示方法がわかりやすいかを聞いた。西暦の場合、年号の場合、年齢の場合と3つの場面についてである。

①-1 西暦の書き表し方

調査ではテレビ画面に縦書きで数字を表示する場合と限定し、もっともわかりやすいと思う表示を以下の4項目から選んでもらった。

(*以下、文中は「回答ア」「回答イ」「回答ウ」「回答エ」で表す)

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
2008年	2008年	二〇〇八年	二〇〇八年	二千〇八年
(連数字)	2008年	二〇〇八年	二〇〇八年	二千〇八年

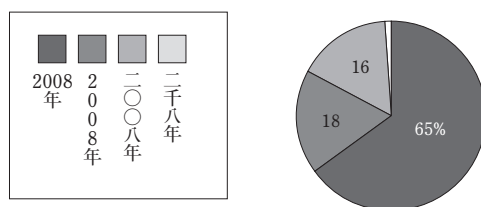
実際の放送や新聞では、「回答イ」または「回答ウ」を使うことが多い。

新聞社では、2けたの数字までは横並びの算用数字(回答ア)で表示している。こうした数字を「連数字」ということがある。また3けた以上

は「回答イ」のように縦並びの算用数字を原則としている⁵⁾。これは、文字(活字)を作ることが難しく、特に4けたでは行間に入りにくいということが大きな理由である。ときには「08」と省略表示をし、連数字を使うこともある。

また、放送で表記する場合、「回答ウ」を使う理由はいくつかある。「〇」は「0(数字のレイ)」ではなく、記号の丸である。「0(レイ)」を漢数字で書くとすれば、「零」になるが、「二零零八」では「にせんはち」であることが理解できない。漢数字の「二」と算用数字の「0(レイ)」を並べる書き方も考えられる。「二〇〇八」となるが、これでは1つの単語の中に漢数字と算用数字が混在することになり、おかしい。「零」もしくは「0(レイ)」の代用として出版界などで使われているのが「〇(記号)」なのである。「〇(記号)」を使うのは苦肉の策なのだが、「〇」という「記号」を漢数字のようにして扱うことに対して違和感があるという声もある。漢数字であれば「二千〇八年(回答エ)」と書くべきであるという考え方もできる。しかし、西暦を「二千〇八年」と書く慣用はなく、かえって違和感がある表記である。かつて、「紀元節」は「二千六百年」と書かれることがあったが、これは「西暦」=「西洋の暦」とは違う考え方の暦であり、漢数字のほうが適している。

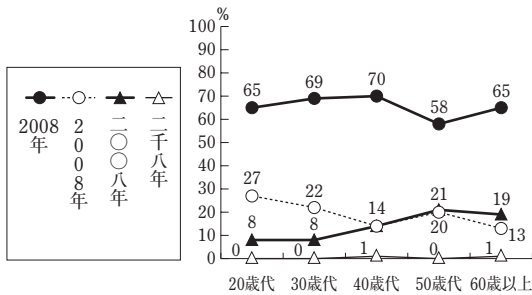
図1 西暦の書き表し方(全体)



さて今回の調査の結果では、縦書きでも、算用数字を選ぶ人が多い。全体では、連数字である「回答ア」が65%といちばん多く、続い

て、「回答イ」、わずかな差で「回答ウ」である。「二千八」と位取りの漢字を書く表記「回答エ」を選んだ人は0%（1,313人中6人）であった。西暦は西洋で使われる暦であり、算用数字のほうが違和感がないと考えられたのだろう。

図2 西暦の書き表し方(年代別)



年代別に見ると、いずれの年代でも連数字(回答ア)が多く選ばれている。また「回答イ」、「回答ウ」に年代差が出ている。「回答イ」は若い年代ほど多く、一方、「回答ウ」は年代が上の人ほど多い。50歳以上では、「回答イ」と「回答ウ」の結果が逆転している。

「回答エ」は各年代でほとんど選ばれていない。西暦に位取りの字を加える表示は、なじみがなく違和感があるのだろう。それでも60歳以上では1%(5人)がこの表記を選んでいる。年代があがると、漢数字への親しみの度合いが増すということなのかもしれない。また、「回答ウ」は出版界の慣用でもある。漢数字への親しみの度合いは、活字文化に親しんでいるかそうでないかに左右されるということも推測できる。

①-2 年号の書き表し方

2けたの年号(元号)の場合、縦書きで漢数字、算用数字どちらで書くとわかりやすいと考えられているのか、テレビ画面の場合と限定して、以下の回答項目で聞いた。

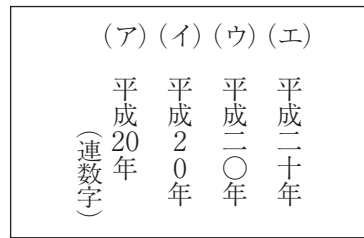
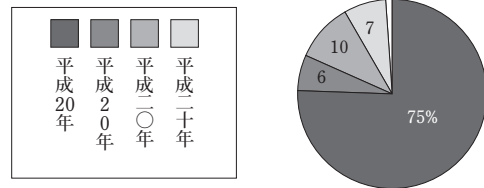


図3 年号の書き表し方(全体)



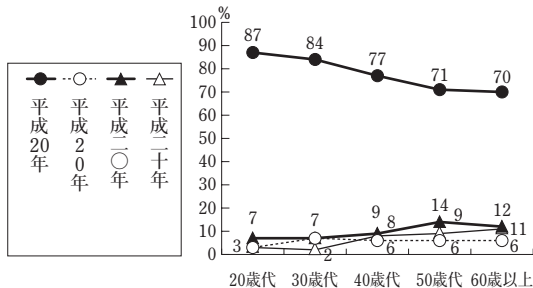
全体の結果、「回答ア」を選ぶ人が75%と多い。西暦の場合よりも、連数字が多く選ばれている。けた数の違いによる差であろう。ただし、新聞社や通信社でも2けたの数字を連数字で表示する「回答ア」の形を使っており、見慣れた表記であることも影響しているのかもしれない。続いて「回答ウ」が選ばれている(10%)。連数字である「回答ア」が多い結果は西暦と同様だが、西暦と違うのは、算用数字を縦並びにする「回答イ」を選ぶ人(6%)よりも、記号「○」を使った「回答ウ」のほうが多いという点である。日本の伝統的な暦である年号は、日本の伝統的な表記である漢数字で書いたほうが違和感がないという意識が働いたのだろうか。

縦書きで「10」「20」などの十の位をどのように書き表すかについては、いくつかのパターンがあり、ゆれている。「0(数字のレイ)」を漢数字とともに書けないのは西暦の説明でふれたとおりである。十の位については、「十」「二十」と「十」という漢字をそえる形でもかまわない。「11」「21」などになると、「十一」「二十一」という表記のほかにも「一一」「二一」と十をはぶく表記でも問題はない。また、「○(丸の記号)」を使っ

で十の位を表すこともある。「一〇」「二〇」などである。

今回の調査の結果、「二十」ではなく「二〇」を選ぶ人が多かった理由ははっきりしない。ただし、「二千八」よりは「二十」を選ぶ人が多いのは、よく目にする表記かそうでないかの違いだろう。

図4 年号の書き表し方(年代別)



年代別には、各年代で「回答ア」が多い。特に20歳代で選ばれており、60歳以上ではやや少なくなっている。漢数字か算用数字かでみると、40歳代を境にして、上の年代は若い年代よりも漢数字を選ぶ人がやや多く、算用数字を選ぶ人はやや少ない。これは西暦の場合と同じような結果である。特に「二十」という表記(回答エ)でこうした年代による違いが見られる。

①-3 年齢の書き表し方

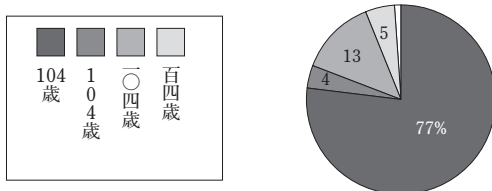
3けたの年齢(100歳以上)をテレビ画面に縦書きで表示する場合、どのように表示するのがよいと思うかを聞いた。回答項目は以下の4つである。



新聞社・通信社では、年齢については連数字

(「回答ア」)を使ってもよいとしている⁶⁾。また、3けたの数字の場合「百」という漢字を使う表示も考えられる。「百」という漢字は、実際の年齢というよりも、長寿であることを強調するときに使われることが多いようだ。

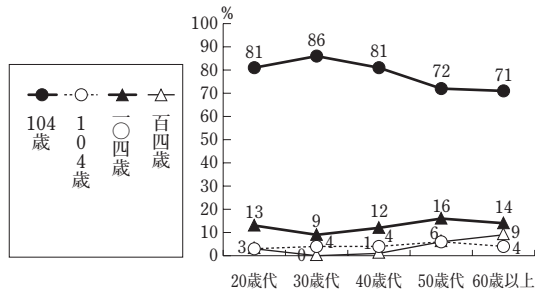
図5 年齢の書き表し方(全体)



調査の結果、西暦、年号の場合と同じで、連数字「回答ア」が77%でいちばん多く、それ以外はかなり少ない。

年代別には、図6のとおり、年代があがるにしたがって、「回答ア」はやや減り、「回答ウ」がやや増えている。また、算用数字を1けたずつ縦並びで表示する「回答イ」で書くという人よりも記号を使う「回答ウ」で書くという人が各年代で多い。「回答イ」と「回答ウ」は、西暦、年号で、年代差が出ているが、年齢の場合、それほど差がないというのが特徴のようだ。

図6 年齢の書き表し方(年代別)



「百四」という表示は50歳以上で選ぶ人が少し増えている(50歳代:6%,60歳以上:9%)ものの、全体としてはかなり少ない。

①-4 まとめ

以上の西暦、年号、年齢の調査結果をまと

めると、次のように考えられる。

・西暦、年号、年齢については、縦書きであっても、算用数字で書くほうがわかりやすいと考えられている。特に連数字（回答ア）が好まれている。

・漢数字を選ぶ人は各語ともに少ないが、年代差が少しあり、50歳以上になると漢数字を選ぶ人がやや多くなる。縦書き・漢数字に慣れ親しんでいる年代といえるかもしれない。

・位取りを表す漢字（千・百など）は、語によってはつけたほうがわかりやすいと判断される場合とそうでない場合とがあるようだ。例えば、西暦の場合、「二千八年」という表記はほとんど選ばれていない。西暦をこのように書く慣用がないためだろう。一方、年号の場合は「二十年」も「二〇年」と同じぐらい選ばれている。平成などの年号は日本の暦で、漢字で書く慣用があるものと考えられる。

・年齢の場合は、1けた、2けた、3けたで意識がかわる可能性がある。今回は、3けたの年齢を聞いており、以下は推測になるが、1けた、2けたは迷わず連数字が選ばれ、3けたになると回答にゆれが出てくるのではないだろうか。

②縦書き・横書きそれぞれの数字の書き方

次に、テレビ画面に出てくる文字・字幕に限定して、「二大政党制／2大政党制」「七転八倒／7転8倒」「世界一周／世界1周」「日系二世／日系2世」の4つのことばについて、縦書き字幕の場合と横書き字幕の場合、それぞれでどのように表示するのがよいと考えるかを聞いた。調査結果を紹介する。

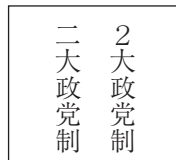
②-1 二大政党制／2大政党制

「二大政党制／2大政党制」はアメリカやイギリスなどの政治体制をいうことばである。数字の部分がほかの数字に置き換わることは考えに

く、漢数字が慣用と考えられる。高校の学習指導要領に対応している『政治・経済用語集』（山川出版社・2004）の見出しでも「二大政党制」と漢数字が使われている。このことばは、政治制度としてではなく使う場合もある。例えば、「現在の国会は自民党と民主党が2大政党である」など、2つの大きな政党をいう場合には、数字の部分がほかの数字に変わることも考えられ、算用数字が使われることが多くなるだろう。

今回の調査では政治体制としての「二大政党制／2大政党制」の表記を聞いた。以下のとおり、テレビ画面に模した紙を示し、縦書きと横書きそれぞれでどちらが良いかを選んでもらった。

縦書き



横書き

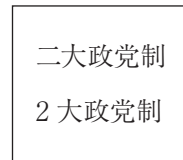
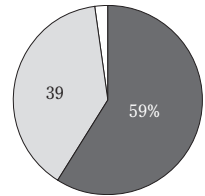
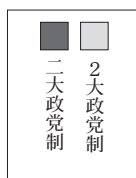


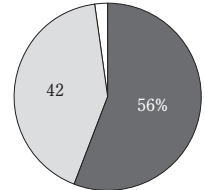
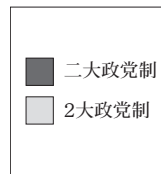
図7のとおり、回答は割れているが、縦書き・横書きいずれの場合も漢数字「二大政党制」が多い。

図7 「二大政党制／2大政党制」（全体）

縦書き

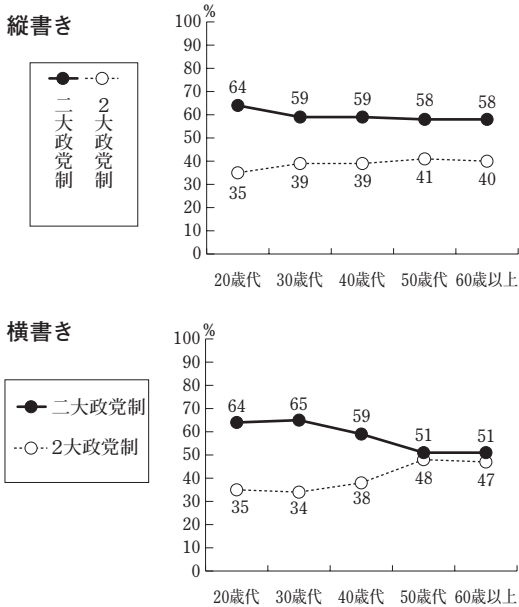


横書き



年代別に見ると、縦書きの場合、ほかの年代に比べて20歳代で漢数字がやや多く、算用数字がやや少ない。しかし、明確な年代差はなく、各年代ともに漢数字が選ばれている。

図8 「二大政党制／2大政党制」(年代別)



横書きは、縦書きよりは年代差がある。各年代で漢数字が多い点は変わらないが、50歳代、60歳以上で、算用数字が多くなり、漢数字が減っており、回答が半分に分れている。漢数字と算用数字は、縦書きと横書きで使い分けると意識が働いた結果だろうか。

年代による差が出た理由は明確ではないが、学校教育で「二大政党制」で教えられ、覚えている年代と、そうでない年代とに分かれたとも考えられる。

②-2 七転八倒／7転8倒

慣用句である「七転八倒」についても縦書き、横書きそれぞれでどのように表示するとよいと思うかを聞いた。

今回、設問を考えるにあたって、漢数字と算用数字で表記に迷いそうなものに加えて、明らかに漢数字で書く人が多いものを入れようと考えた。それが「七転八倒」である。漢数字以外の表記が考えにくい語であっても、算用数字で書いたほうがわかりやすいと答える人が一定数いれば、算用

数字が進んでいるということができないのではないかと考えた。その目安にするために調査に加えた。「二大政党制／2大政党制」と同様にテレビ画面に模した紙を示し、どちらが良いか選んでもらった。

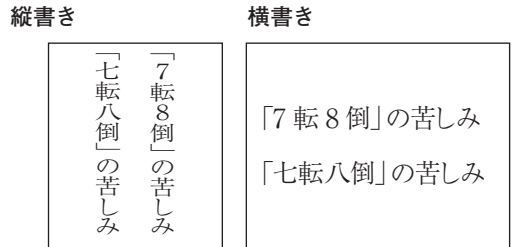
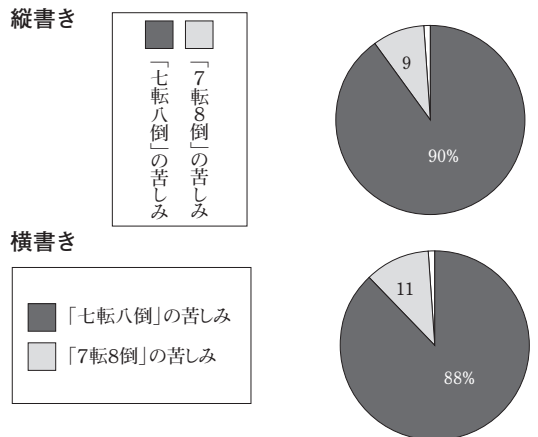


図9 「七転八倒／7転8倒」(全体)



縦書き・横書きともに漢数字が9割近くにのぼった。「七転八倒」は漢数字であるという意識が定着しているといえよう。

しかし、数は少ないが、算用数字で答える人も1割前後いる(縦書き9%、横書き11%)。この人たちのほかの設問での回答を調べてみると、ほかの語でも算用数字で答えることが多いようだ。数字はすべて算用数字でと答える人や、語に関係なく、縦書きは漢数字、横書きは算用数字と機械的に答える人がいるということだろうか。

なお、縦書き、横書きともに年代差は見られない。

図10 「七転八倒／7転8倒」(年代別)

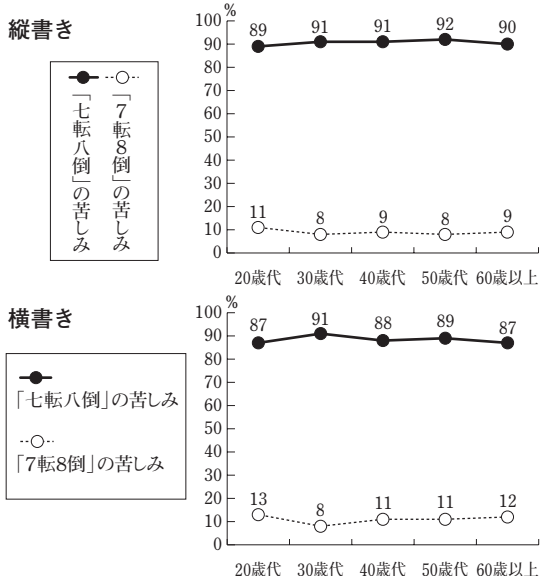
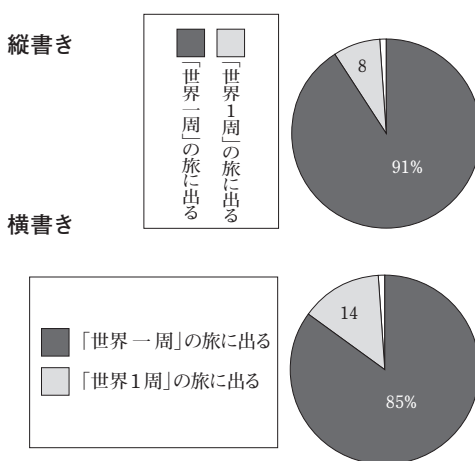
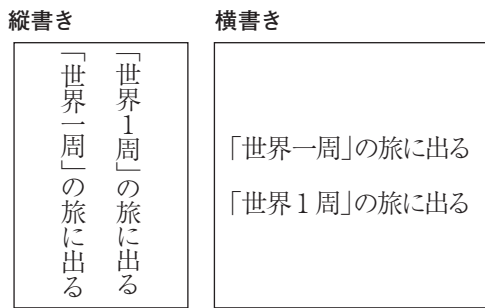


図11 「世界一周／世界1周」(全体)



②-3 世界一周／世界1周

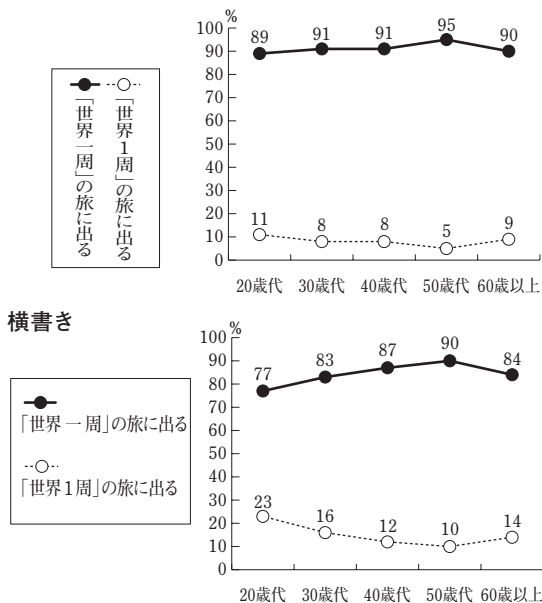
続いて「世界一周／世界1周の旅に出る」といった場合に、漢数字、算用数字、どちらで表示するのがよいと思うかを縦書き、横書きそれぞれで聞いた。



この語は、算用数字、漢数字両方で書くことが考えられる。『八十日間世界一周』という小説や映画もあるが、「世界一周」とすると慣用的になり、特別なことをしたことが強調される印象がある。「世界1周」となると、何周もする感じが強くなる。

調査の結果、図11のとおり縦書き、横書きともに漢数字が多かった。ほかの語と同様で、横書きになると算用数字がやや増える。

図12 「世界一周／世界1周」(年代別)



年代別には、縦書きの場合は年代差はなく、各年代で漢数字が多い。横書きも漢数字が多いことには変わりはないが、20歳代で算用数字を選ぶ人がやや多く、漢数字を選ぶ人がやや少ない。また、50歳代では、漢数字を選ぶ人がやや多い。「七転八倒」と同様で、漢数字で書く慣用が定着している語だが、若い年代で、算用数字化が始まっている語であるともいえる。「世界一周」が特別なこと

であった時代は、漢数字を使い強調する必要があったが、世界を何周もできてしまう時代の若者にとってはそれが特別なことではなくなりつつあるということを表しているのかもしれない。

②-4 日系二世／日系2世

縦書き

日 系 一 世	日 系 二 世
------------------	------------------

横書き

日系二世
日系2世

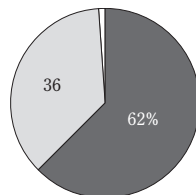
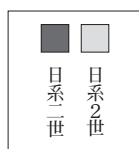
最後に、「日系二世／日系2世」について聞いた。この話はもともと、漢数字で書く慣用が強いことばである。現在、日系人社会では「6世」まで世代が進んでおり、算用数字で書かれる機会が多くなってきている。海外日系人協会のHP⁷⁾では「二世」「三世」「四世」の表記が見られるが、新聞社・通信社では「在日2世」「日系3世」で統一している。NHKでも海外とかわりのある語であること、世代を数える数字であり、数が増えていくことが考えられること、などの理由で、算用数字を使っている。ただし、「世襲議員」のことをいう「二世議員」は、NHKの放送では、漢数字を使うことにしている。これは、「世襲」であることを表現する「二世」であり、世代などを数える数字とは異なると考えるためである。

この語は、調査の結果、図13のとおり漢数字・算用数字でゆれている語であることがわかる。年代差も出ている(図14)。縦書き、横書きともに20歳代で算用数字が多く、漢数字が少い。また、年代があがるにしたがって、漢数字が多くなっていく。特に、縦書きでは、20歳代以外は漢数字のほうが多いが、20歳代だけが、算用数字が多い。

日本からの移民が数多く南米に向かった時代には「日系一世」「日系二世」ということばが象徴的に使われており、その時代を知っている

図13 「日系二世／日系2世」(全体)

縦書き



横書き

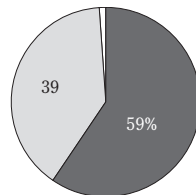
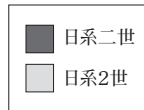
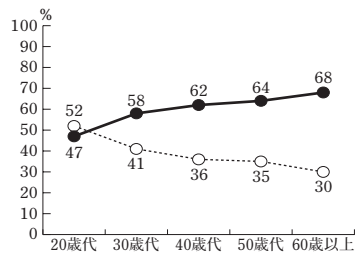
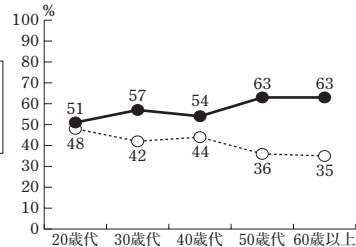
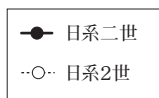


図14 「日系二世／日系2世」(年代別)

縦書き



横書き



年代と、日系人が地元の国に定着し、何代にもわたるようになった現代しか知らない年代では、語の使い方が異なるということだろう。

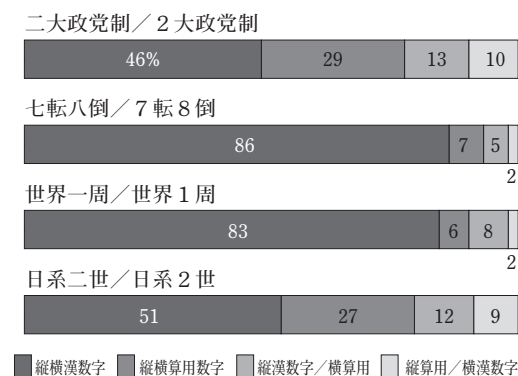
年代差があるという点では、「二大政党制／2大政党制」と同じであるが「二大政党制／2大政党制」の場合には、年代があがるほど、算用数字が多く、「日系二世／日系2世」の場合は若い人ほど算用数字が多い。2つの語で逆の傾向が見られる。

②-5 縦書きと横書きの使い分け

次に同じ語で、縦書き、横書きの使い分けをしている人がどの程度いるかを見ていく。

図15に示したとおり多くの人が縦書き、横書きで数字の書き分けをしていないことがわかる。ただし、4語のうち、年代差があり、算用数字と漢数字とで回答が割れた「二大政党制／2大政党制」と「日系二世／日系2世」では、縦・横で使い分けをする人がやや多い。一方、漢数字で書く人が特に多い「七転八倒／7転8倒」「世界一周／世界1周」は縦・横でほとんど使い分けをしていない。

図15 縦書き・横書きの使い分け (全体)



②-6 日大調査・WEB調査について

最後に、日本大学の学生などに行った調査と、文研のHP上「国語力テスト」内で行ったWEB調査の結果についてもふれておきたい⁸⁾。

ここでは世論調査で調べた語と同じものについてふれる。図16, 17のとおりいずれの語についても漢数字のほうがやや多い結果となった。しかし、日大調査でも、WEB調査でも、横書きに限定して聞いており、調査形式も違うため、単純には比較できない。

特にWEB調査は、NHKの国語力テストのHPにアクセスした人が対象である。日本語への意識が高く、伝統的な語を選ぶ傾向があると考えられる。そのため漢数字が多いという結果になっているのかもしれない。

図16 日大調査 (全体)

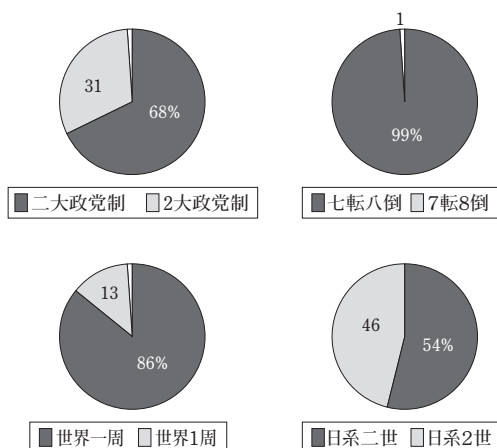
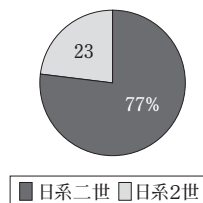


図17 WEB調査 (全体)



②-7 まとめ

「西暦」「年号」「年齢」は縦書きであっても算用数字が多かったのに対して、「二大政党制／2大政党制」「七転八倒／7転8倒」「世界一周／世界1周」「日系二世／日系2世」は、横書きでも漢数字を選ぶ人が多い。人々は、数量や年数を表すものと、数字自体に意味のあるようなものを区別しており、語や場面によって算用数字か漢数字か、どちらが適切かを判断しているようだ。

年代差について考えてみると「日系二世／2世」は、若い年代では、算用数字が多くなり、年代があがるにしたがって漢数字が多かった。一方、「二大政党制／2大政党制」は、若い年代で漢数字が多く、年代があがるにしたがって、算用数字が多くなる。

調査を行う前の仮説では、若い年代ほど算用数字化が進んでおり、縦書き・横書きともに算用数字を選ぶ人が多く、反対に、年代があ

がるにしたがって、漢数字を選ぶ人が多くなるのではないかと考えていた。縦書きである新聞社・通信社が算用数字化をつぎつぎと始めており、一般の人が実際に目にする数字は算用数字が多いのではないかと考えたためである。しかし、調査の結果、この仮説は成り立たない可能性があるということがわかった。

今回の調査結果が、必ずしも実際の言語生活どおりとはいえない部分もある。見やすいと選んで選ぶ表記と、正式に書く場合と選んで選ぶ表記とは異なることも考えられる。今後、テレビ、インターネット、携帯電話の3screens時代が本格的になると、同じ話題、同じニュースでメディアごとにさまざまな表記が出てくる可能性が考えられる。一方で、視聴者、利用者としては、表記の統一感を求めたくなる。今後、数字に限らず、表記についてより深い考察と検討が必要になってくるだろう。

(やました ようこ)

注：

- 1) 山下洋子 (2008) 「放送用語委員会 (東京) 数字の書き方について」『放送研究と調査』第 58 巻 4 号
- 2) 放送用語班 (2004) 原則 VI 数字の書き方『新用字用語辞典 (第 3 版)』
- 3) 放送用語班 (1958) 『テレビのタイトルとパターンの横書きと縦書きについて』部内資料
- 4) 放送用語班では、「放送における数字表現について」の世論調査以外に、以下の 2 つの調査を数字表現について行った。
 - ・ WEB 調査：NHK 放送文化研究所の HP 内「国国力テスト～多数派少数派」で 2008 年 5 月～8 月に実施。有効数は 884。
 - ・ 日大調査：NHK 放送用語委員会委員・荻野綱男日本大学教授の協力により、2008 年 5 月～6 月に実施。日本大学学生およびその家族や関係者を対象に、数字の書き方について聞いた。有効数は 502。
- 5) 新聞社・通信社は、2 けた数字までを 1 字分で

書き表し、3 けた数字からは縦に並べることを原則とするところが多い。ただし、100 歳以上の年齢を表す場合など、ニュースの内容によって、3 けた数字を 3 連数字で書く場合もある。ハンドブックやスタイルブックに明記のあるものは以下のとおり。

朝日新聞社 (2007) 『改訂新版 朝日新聞の用語の手引』：縦書き文中では 2 けたまで 1 文字で書く。

毎日新聞社 (2007) 『毎日新聞用語集』：3 分数字は避け、2 分数字までを使う。年齢、死亡記事、お知らせなどでは、3 分数字を使うこともある。読売新聞社 (2008) 『改訂新版 読売新聞用字用語の手引』：2 けたまでは横並び 1 字分、3 けた以上は縦に並べるのを原則とする。100 歳以上は例外として 3 連数字を使う。

産経新聞社 (2008) 『産経ハンドブック』：連数字は原則として 2 けた (00～99) まで。

時事通信社 (2009) 『数字の書き方の基準』：2 けた数字は連数字とする。3 けたの連数字は丸カッコ内の年齢表記の場合以外は使わない。

共同通信社 (2009) 『数字の書き方小冊子』：2 けた数字は連数字とする。3 けたの連数字は丸かっこ内の年齢表記の場合以外は使わない。

6) 5) と同じ

7) 財団法人海外日系人協会 <http://www.jadesas.or.jp/>

8) 4) と同じ

参考文献：

- ・ 屋名池誠 (2004) 『横書き登場』岩波新書
- ・ 文化庁 (2006) 『国語施策百年史』ぎょうせい
- ・ 文化庁国語課監修 (1969) 『国語表記実務提要 1, 2』ぎょうせい
- ・ 朝日新聞社 (2007) 『改訂新版 朝日新聞の用語の手引』
- ・ 毎日新聞社 (2007) 『毎日新聞用語集』
- ・ 読売新聞社 (2008) 『改訂新版 読売新聞用字用語の手引』
- ・ 産経新聞社 (2008) 『産経ハンドブック』
- ・ 共同通信社 (2009) 『記者ハンドブック (第 11 版増補) 数字の書き方小冊子』
- ・ 時事通信社 (2009) 『最新用字用語ブック (第 5 版増補) 数字の書き方の基準』

平成 20 年度 放送における数字表現に関する調査
単純集計結果

1. 調査時期 平成 20 (2008) 年 7 月 10 日～ 27 日
2. 調査方法 調査員による個別面接聴取法
3. 抽出方法 層化副次 (二段) 無作為抽出法
4. 調査対象 満 20 歳以上の男女 (全国) 2,000 人
5. 調査有効数 (率) 1,313 人 (65.7%)

Q1 西暦や年号、年齢など数字の書き方についてうかがいます。

(1) テレビ画面にたて書きで数字を表示する場合、(ア)～(エ)のどの表示方法がもっともわかりやすいですか。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
2008	2008	二〇〇八	二千〇八年
年の	年の	年の	年の
ニ	ニ	ニ	ニ
ュー	ュー	ュー	ュー
ス	ス	ス	ス

1. (ア) がもっともわかりやすい 64.9 %
2. (イ) がもっともわかりやすい 17.7
3. (ウ) がもっともわかりやすい 15.5
4. (エ) がもっともわかりやすい 0.4
5. わからない 1.4

(2) 次の場合は、どの表示方法がもっともわかりやすいですか。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
平成 20 年の	平成 20 年の	平成 二〇年の	平成 二十年の
ニ	ニ	ニ	ニ
ュー	ュー	ュー	ュー
ス	ス	ス	ス

1. (ア) がもっともわかりやすい 75.4 %
2. (イ) がもっともわかりやすい 5.6
3. (ウ) がもっともわかりやすい 10.4
4. (エ) がもっともわかりやすい 7.4
5. わからない 1.1

(3) では、次の場合は、いかがでしょうか。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
104 歳	104 歳	一〇四 歳	百四 歳

1. (ア) がもっともわかりやすい 76.5 %
2. (イ) がもっともわかりやすい 4.4
3. (ウ) がもっともわかりやすい 12.9
4. (エ) がもっともわかりやすい 5.2
5. わからない 1.0

Q2 テレビ画面に出てくる文字についてうかがいます。

たて書き、よこ書きの場合の数字の書き方について、漢数字 (一、二、三など) を使うのがいいでしょうか。算用数字 (1, 2, 3 など) を使うのがいいでしょうか。次のことばについてお答えください。

(1) 政治の世界で「にだい政党制」ということばがありますが、テレビ画面ではどう表示するのがいいでしょうか。

A. たて書きの場合はどうでしょうか。

a 漢数字で表示する

二 大 政 党 制

b 算用数字で表示する

2 大 政 党 制

1. (ア) aの方がいい 47.9 %
2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい 11.1
3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい 12.1
4. (エ) bの方がいい 27.2
5. わからない 1.7

B. よこ書きの場合はどうでしょうか。

a 漢数字で表示する

二大政党制

b 算用数字で表示する

2大政党制

1. (ア) aの方がいい 45.0 %
2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい 11.0
3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい 12.0
4. (エ) bの方がいい 30.3
5. わからない 1.7

(2) 「『しちてんぱつとう』の苦しみ」は、テレビ画面ではどう表示するのがいいでしょうか。

A. たて書きの場合はどうでしょうか。

a 漢数字で表示する

「七 転 八 倒」 の 苦 し み
--

b 算用数字で表示する

「7 転 8 倒」 の 苦 し み
--

1. (ア) aの方がいい 81.4 %
2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい 9.1
3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい 2.7

- 4. (エ) bの方がいい……………6.1
- 5. わからない……………0.8

B. よこ書きの場合はどうでしょうか。

- a 漢数字で表示する
- b 算用数字で表示する

「七転八倒」の苦しみ

「7転8倒」の苦しみ

- 1. (ア) aの方がいい……………78.4 %
- 2. (イ) どちらかといえばaの方がいい……………9.7
- 3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい……………3.4
- 4. (エ) bの方がいい……………7.8
- 5. わからない……………0.6

(3) 『「せかいいっしゅう」の旅に出る』は、テレビ画面ではどう表示するのがいいでしょうか。

A. たて書きの場合はどうでしょうか。

- a 漢数字で表示する
- b 算用数字で表示する

「世界一周」の旅に出る

「世界1周」の旅に出る

- 1. (ア) aの方がいい……………80.8 %
- 2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい……………10.3
- 3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい……………3.1
- 4. (エ) bの方がいい……………5.0
- 5. わからない……………0.8

B. よこ書きの場合はどうでしょうか。

- a 漢数字で表示する
- b 算用数字で表示する

「世界一周」の旅に出る

「世界1周」の旅に出る

- 1. (ア) aの方がいい……………76.2 %
- 2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい……………8.7
- 3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい……………5.3
- 4. (エ) bの方がいい……………9.0
- 5. わからない……………0.8

(4) アメリカなどに渡った「日系」の方たちの子どもの世代を「日系にせい」と言います。テレビ画面では、どう表示するのがいいでしょうか。

A. たて書きの場合はどうでしょうか。

- a 漢数字で表示する
- b 算用数字で表示する

日系二世

日系2世

- 1. (ア) aの方がいい……………51.7 %
- 2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい……………10.7
- 3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい……………12.0
- 4. (エ) bの方がいい……………24.3
- 5. わからない……………1.3

B. よこ書きの場合はどうでしょうか。

- a 漢数字で表示する
- b 算用数字で表示する

日系二世

日系2世

- 1. (ア) aの方がいい……………48.6 %
- 2. (イ) どちらかといえば、aの方がいい……………10.7
- 3. (ウ) どちらかといえば、bの方がいい……………12.0
- 4. (エ) bの方がいい……………27.3
- 5. わからない……………1.4

サンプル構成

全体	性別		年層							
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上			
1,313人	625	688	150	229	195	243	496			
100.0%	47.6	52.4	11.4	17.4	14.9	18.5	37.8			
全体	男の年層					女の年層				
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,313人	70	109	89	116	241	80	120	106	127	255
100.0%	5.3	8.3	6.8	8.8	18.4	6.1	9.1	8.1	9.7	19.4